



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

### News Pick Up !!

#### 「日本の土木系学科における国際教育シリーズ」の紹介

国際センター・情報グループでは、国際センター通信No.68(2018年6月4日発行)より、新連載記事「日本の土木系学科による国際教育シリーズ」を開始した。

第一回目は、京都大学の取り組みについて紹介した。京都大学では、学部・修士課程に国際コースを設置し、学部入学から卒業まで一貫して英語のみの教育を行っている。留学生の出身国は16カ国を数え、卒業後は、日本、さらには海外で就職し活躍している。

また当大学では、留学生を受け入れるにとどまらず、日本人学生の国際化にも力を入れており、海外インターンシップ制度や英語ゼミ、海外学会での発表など、将来世界で活躍できる土木技術者の育成を目指している。詳細は本記事掲載号をご覧ください。

本シリーズでは、これからも国内の大学の土木系学科が実施する国際化への取り組みを紹介していく予定である。今後とも国際センター通信にご注目いただきたい。



シリーズ第一回目となる京都大学

#### 「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」第12回シンポジウム開催報告(国際センター主催)

国際センター・プロジェクトグループ主催「世界で活躍する土木技術者シリーズ」第12回シンポジウムが2018年7月



参加者でいっぱいとなった土木会館講堂

19日(木)に土木会館講堂にて開催された。今回は土木学会関西支部、豊橋技術科学大学、東亜建設工業(株)名古屋支店の3カ所へライブ配信を行い、総参加者数は延べ166名であった。

今回「世界の港湾インフラ建設工事 ～バヌアツ国ポートビラ港ラパタシ国際多目的埠頭整備計画～」をテーマとし、第一部では国土交通省港湾局と国土交通省 国土技術政策総合研究所より港湾インフラシステムの海外展開、日本の港湾設計・施工基準の海外への技術移転について基調講演があった。

第二部では施工者である東亜建設工業(株)からバヌアツ共和国ポートビラ港国際多目的埠頭工事について工事概要、契約面での苦労、現場で使用した技術の紹介、海外赴任者の現地での生活などプロジェクトの紹介にとどまらない幅広い発表がなされた。

なお、次回、「第13回世界で活躍する土木技術者シリーズ」シンポジウムの開催を2018年12月に予定している。

### Event Calendar

国際センターが企画するイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は下記の学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail: [iac-news@jsce.or.jp](mailto:iac-news@jsce.or.jp)

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>
- 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>
- (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>